

きゅうしょくだより

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間にについて知ろう

わたしたちが毎日食べている給食は、ごはんやパンに魚、肉、豊富な野菜、牛乳、そしてくだものがつくなど、栄養バランスのよい食事です。戦争などによって中断されていた給食が再び始まったことを記念して、「全国学校給食週間」が定められました。全国学校給食週間を通して、給食の歴史を知り、生きものの命をいたくことや給食に関わる人たちのことなど、毎日食べている給食について考えてみましょう。

学校給食の歴史を知りましょう

明治22(1889)年
やまがたけんひる山形県で昼ごはんを持って来られない子どもたちのために昼ごはんを出したことが、学校給食の始まりといわれています。その後、日本中に広がっていきました。

昭和21(1946)年12月24日
[学校給食感謝の日]
戦後、アメリカから寄贈された脱脂粉乳や小麦粉を使った給食が提供されました。

現在の給食
小学生や中学生の健康を守り、成長するためには必要な栄養素をバランスよくとることができます。給食を通して、食について学ぶよい機会となっています。

昭和16(1941)年ごろ～
戦争が始まると、次第に食べものが不足したため給食を中断せざるを得ない状況になりました。

令和8年1月
大阪市立西天満小学校

1月のこんだてより

大切に食べよ



りょうり ねが
～おせち料理にこめられた願い～

しょうがつ ことし けんこう しあわ す
正月には、「今年も健康で幸せに過ごせます

ねが た りょうり
ように」と願って食べる料理がたくさんあります。

1月9日(金)「ごまめ」



たづく よ こめ しょくもつ ほうさく ねが
「田作り」とも呼ばれて、米や食物の豊作を願う。



1月26日(月)「くりきんとん」

ことし ゆた せいかつ おく ねが
「今年も豊かな生活が送れますように」と願う。



1月30日(金)「紅白なます」「黒豆の煮もの」



しきいろ あかいいろ みずひき いみ
・だいこんの白色とにんじんの赤色で、水引を意味し、新年を祝うめでたさを表す。

・「まめまめしく(まじめによく)働けますように」と願う。

給食に出る今が旬の野菜

★みずな★

むかし きょう と ふ さいばい きょう や さい さむ
昔から京都府で栽培されていた京野菜です。寒さ
きび あき お ふゆ しゅん
が厳しくなる秋の終わりから冬にかけて旬(たくさん
とれて、おいしい時期)をむかえ、京都府では「みずな
みせ で じき ふゆほんばん
が店に出るようになると、冬本番」といわれています。



1月16日(金)「みずなの煮びたし」